

令和6年度 第4回小糸・清和地区公民館運営審議会 会議録

- 1 会議名称 令和6年度第4回小糸・清和地区公民館運営審議会
- 2 開催日時 令和7年2月28日（金）15時00分から16時30分
- 3 開催会場 小糸公民館 講義室
- 4 出席委員 【小糸地区】藤村委員長、小川委員、白井委員、末安委員
【清和地区】佐藤副委員長、伊藤委員、佐藤（利）委員、奥村委員
事務局 【小糸公民館】大野館長、伊藤副館長、寺本公民館主事、
隅越主任主事
【清和公民館】安部副館長、唐鎌公民館主事、濱田主任主事、
小間社会教育指導員
- 5 欠席者 なし
- 6 傍聴人 なし
- 7 会議概要 下記のとおり

1. 開会（進行 伊藤副館長）

2. あいさつ （藤村委員長）

3. 報告

（1）令和7年「20歳のつどい」について

【藤村委員長】

では、次第に沿って、進めさせていただきます。説明をお願いします。

【小糸公民館】

- ・資料1頁に沿って寺本公民館主事説明
- ・スライドによる当日の様子映像も併せて説明

【藤村委員長】

今回の20歳のつどいの来賓は、委員長の私と佐藤副委員長ですが、私の方が当日欠席になってしまったので、当日出席されていた佐藤副委員長と会場校の校長でもある末安委員のお二人から実際に見られた感想等をお願いいたします。

【佐藤副委員長】

私は今まで20歳のつどいは清和地区しか出てこなかったもので、そのつもりで行ったのですが、やはり合同になると全く違って、資料の1番下の課題、次に向けてに「双方の取り組みの違いから内容や時間に物足りなさを感じる人がいた」と書いてあるように、私自身も物足りなさを感じました。清和だと全員の子がどこの地区の誰とわかる。合同になり人数多いから、誰がどこの地区の子とか、そういったことがやっぱり全くわからない。だから普通に見ていても、ただこんな感じなのかと。他の地区のつどいも、きっとこんな感じなのでしょうけれども、今までの清和地区での20歳のつどいとは全然感じが違いました。

【藤村委員長】

では、末安委員お願いします。

【末安委員】

はい。私、今年から着任し、本校の1期生になる子たちを見るのは直接初めてということになります。ただ、体育祭などのいろんな行事の時にお手伝いに来てくれたり、公民館行事で少し顔を見ていたり、今在籍している生徒のお兄さんお姉さんも何人かいました。今回、初めてつどいの様子を見た時に、今の3年生の数が大体40人ちょっとなのですが、当時は80人で倍いたのだからというのを見て、当時はまだ大きかったのかなという印象でした。

単純に成人式だけを捉えた時に、今まで自分のお世話になった学校で、恩師という立場で招待された時の成人式っていうのは、生徒数をもっと多かったもので、今回見た違和感はそれほどなかったのですが、ただ、今、佐藤副委員長がおっしゃったように、清和地区の1人1人を大切にしたいコメントの場がある成人式もあるのだというのを、今お聞きして、そういったものができたら素晴らしいなと思いつつも、もしこれを40人全員が来たら、1人1分でも40分かかるのかなとか、色々考えるところもあるのですが、内容そのものについては、まだこれから見直したりとか、検討したりする余地はあるのかなと思います。

ただ、成人式そのものは、久々に母校に帰ってきて、懐かしそうな雰囲気

中で、笑顔で、当日天気もよかったので、私としては、本校会場校として無事に終わられてよかったなと思っています。

【藤村委員長】

もし特段ご質問等あれば伺います。

それでは、よろしいでしょうか。では、議事を進めてまいります。

6年度の報告について小糸公民館から説明をお願いします。

報告（2）令和6年度事業総括 について

【小糸公民館】

- ・資料2項、 寺本公民館主事説明
- ・スライドによる当日の様子映像も併せて説明
- ・資料3項、追加資料 隅越主任主事説明

【清和公民館】

- ・資料4、5項、唐鎌公民館主事説明

【藤村委員長】

ただいま、事務局から説明がありましたが、次の議事に関連しますので、引き続き、議事（1）の説明のあとに、一括でご意見を伺います。

では、議事（1）令和7年度事業の方向性と重点取り組みテーマ（分野）について 事務局をお願いします。

議事（1）令和7年度事業の方向性と重点取り組みテーマ（分野）について

【小糸公民館】

- ・資料6項 寺本公民館主事説明

【清和公民館】

- ・資料7項 安部副館長説明

【藤村委員長】

これから、皆さんから令和6年度事業総括と令和7年度事業の方向性についてのご意見、感想でもかまいませんので、1人が3、4分以内で終わる程度の話でいただければ助かります。では、佐藤副委員長からよろしくをお願いします。

【佐藤副委員長】

では、小糸公民館の令和6年度の事業総括について、小糸家庭教育学級と親子教室の合同事業では、普段顔を合わせることでできない世代が交流を図ることができたのと、父親の参加も得ることができたという成果が、とても素晴らしいことだと思います。先ほどもビデオを見させていただいて、楽しそうに皆さんと活動していたのでよかったなと思います。ただ、子供の年齢が小さい子と高学年との幅が広がって、活動が難しそうだというのは、ちょっと見えました。

次に、夜カフェですね。これも資料の感想を読んだ時点で、もう本当に素晴らしいことだったと思いました。

今まで、思春期の子供を持った親の話し合いの場は初めての試みと聞きました。それがこういった形で開催でき、感想からわかるようにとても素晴らしい講演だったと思います。その中で、「さぽっと」の傾聴ボランティアさんが班に入りファシリテーターとして参加することで、皆さんが平均的に自分たちの悩みを言うことができ、よかったと思いました。

あと、全体的に小糸公民館は延べ参加人数がとても多くて、清和公民館とは元々人口が違うので当たり前かなとは思いますが、参加人数が多いってことは、それだけ取り組み成果が結果に繋がっていると思います。小糸公民館が活用されているのだからということを感じました。

次に清和公民館の事業報告についてです。まだ開館したての頃は色々な取り組みが行政のものであって、スペースの活用や賑わいを求めているのですが、それが難しく、利用の仕方も厳しかったのですが、それがだんだんと利用しやすく柔らかくなってきて、ふもとの茶屋とかカインズの連携とか、キッチンカー等が可能になってきました。最初の頃は、そういったのは全く無理と聞いていたので、なんとか賑わいを持たせたいと思っても難しいなと思っていたのですが、だんだん実施されるようになってよかったなと思います。

【伊藤委員】

まず事業総括では、小糸公民館は人が多い、7千人からいて若い人も多い。それに合わせて子育て支援等の特色ある事業に取り組んでいる。清和については人口減少・過疎化が進みその中の公民館サークルの運営は容易なことではない。そういう観点から関係団体の関りを持ってもらって、事業・公民館・複合機能・複合施設をうまく活用した中で取り組みがされていることが、他の公民館にはない取り組みじゃないかと思います。また地域内だけでなく地域外とも一緒にやっているのを見させていただいて、それぞれの公民館が特徴のある

活動をしているのを改めて理解させていただき、いいことだなと思っております。小糸の子育て事業を合同でやる利点は、いろんな人と繋がることのできる利点がある。反面、対象が小学生と幼児では、事業活動の運営をどうすればいいのか苦戦されていたんじゃないかと思います。それを苦労されて取り組んで、それでこれだけ人が集められているのは素晴らしいという感想を持ちました。

清和については、にぎわい創出の機能も持っていて、単なる公民館だけの活動から幅広く、他の地域の人たちと事業活動を展開しているのだと思います。「デジタル木工」については、パソコンを使うのは地域の住民にとっては難しいと思う。工芸室を活用するなら誰でも簡単にできる工作教室などにした方が、地域にとっては参加しやすいのではないかと考えております。

次に、地域活性化センターの側面支援ということで色々協力いただいてやっているが、特に清和地域においては、清和地域だけではない地域連携が鍵になってくる。公民館の生き残りもそうだし地域の生き残りもそうだと思います。1人でやるのではなく地域で連携してやるということが、1番大切だと思います。その点が清和の特色。人が少ないところのやり方の特徴なので、それを生かした事業を展開していただければと思います。

あと、3の取組内容にある出張型事業の模索、これはいい。やはり何と言っても1番の課題は移動手段になる。公民館の中であるのとちがって、出向いての事業の準備は大変ですが、少しずつでも取り組んで頂きたい。出張型事業の取り組みの必要性は高いのではないかと考えております。

あと、サロンですね。ぜひこのサロンだけは、連携した中でさらに団体ともっと連携して進めていただきたい。それが地域の支え合い活動に繋がっていくのだと考えております。

最後にちょっと聞きたいのですが、これだけ色々幅広い視野から事業活動を展開していて、事業をするにあたって、職員として、今後の課題みたいなものがあれば最後に伺いたいです。

【藤村委員長】

では、最後にまた聞かせていただきます。では、佐藤（利）委員

【佐藤委員】

初めに、小糸公民館の7年度事業の方向性についてですが、来年、戦後80年ですよね。ということで、平和、戦争に関わる事業を新年度事業の方向性で行っていかうということで、非常にまを射た事業と考えております。

資料に小糸の水戸先生の絵が出ていますが、小糸に関してはこれについ

て詳しい方がたくさんいましたが、年月とともに亡くなられ、非常に寂しいです。この時期に、まとめておくというのは、すごく大切なこととっております。特に、私は戦没者遺族会の会員でありまして、遺族会の活動もやっているのですが、ほぼ90%は戦争を知らない世代ですから、活動にも全く意識がないです。会員も著しく減っています。ですので、平和教育がまとめられたら素晴らしいとっておりますので、よろしくお願ひしたいと存じます。

それから、清和公民館の方でございますけども、事業総括を聞いていると、出張型事業をやっていると聞いて素晴らしいことだと思っております。君津地区なら福祉のふれあいサービスやサロンをやっても結構人が来ます。ところが清和でこれと同じ事業をやっても人が来ません。こちらから出向く事業は、これからはすごく大切なことじゃないかと思っておりました。先ほど伊藤委員が言われていた地域の連携とか事業の連携とか、いわゆる人の連携・繋がりが、中心にならなければいけませんので、そういう意味では、新しく素晴らしい事業が動き出す風を感じておりますので、また今後も頑張つてよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。はい、ありがとうございます。

【藤村委員長】

では、次に奥村委員

【奥村委員】

どちらの公民館も本当に素晴らしい活動をされているなっていうのを感じました。小糸の夜カフェは、思春期がテーマで、男性の方が3分の1くらい参加できたというのは、夜、開催されたのが良かったのだと思います。20歳のつどいの記念品ですが、予算がなく、集合写真は希望者が購入というのが気になっていました。説明の中に、実行委員会で話し合いをして、バザーの売上げ費用の使い方を事前に色々話し合った中で決めたことがわかりましたが、今ひとつ気になっています。

【藤村委員長】

次に白井委員お願ひします。

【白井委員】

私は、今、清和のサークルに参加しています。これは館報「せいわ」のサークル紹介で知りました。他にも別の地区から参加している人がいます。館報が周知の役割となっていて、幅広い地域の皆さんと活発に活動していき

いと思っています。

小糸の家庭教育学級と親子教室の合同開催の方ですが、料理サークルオーリーブで、お寿司の指導で参加したのですが、人数が多くて丁寧にもっと教えてあげたかったなって反省するところがありました。ですが、お父さんも一生懸命作っているのを見るととても素晴らしい事業だと思いました。

それから、小糸の7年度の文化祭ですが、戦争・平和に関する地域学習ということで、戦後80年という戦争経験された方もだいぶ減ってしまい、お話を聞く機会がなかなかないので、このような企画をしてもらい、次の世代につなげていけたらなと思っておりますので、ぜひよろしくをお願いします。

【藤村委員長】

では、次に末安委員をお願いします。

【末安委員】

両地域の実態とか現状に合わせて様々な工夫をしながら事業の取り組みをされているということに対して、本当に頭が下がる思いです、ありがとうございます。私が特に印象に残っていたのは、やはり今年の両文化祭の時に、成人になる子たちが実行委員として参加してくれた事でしょうか。焼きそばをやりたいとか、若いエネルギーを地域のために動いていたことが、おそらく20歳のつどいに繋がっていったのではないかなという印象を持っています。

さらに、試験的に中学生も文化祭に出店して、世代が単に20歳だけじゃなくてそのもう1つ下の世代の子たちも意図的にそういった行事を組んでくれたというのは、この地域にとってはとても大切なことだと改めて感じるころでした。本当に地域の方の支えによって、あの子たちが一生懸命、今を頑張っているのだからというのを改めて実感しているところです。どうぞよろしくをお願いします。

【藤村委員長】

では、小川委員をお願いします。

【小川委員】

この冊子をいただいた時に、カラーで、豆まきの雰囲気とか、5ページのふもとの茶屋の雰囲気が伝わってきて、カラーで見やすく嬉しかったです。20歳のつどいの記念品の件ですが、文化祭で得た収益を自分たちで使わずに、ビンゴゲームの景品代にして仲間に還元されたのを知って嬉しく思いました。今、どの子が成人したのかとか、さっぱりわからないのだけど、公民

館の館報に掲載されていて、回覧板で回ってきた館報をみながら、夫と「○○さんちの子どもだ。もうこんな大きくなったんだね」とか、館報から地域の子どもたちを知ることができました。清和の館報は二十歳の全体の写真が載っていたので、雰囲気がよくわかりました。

それから、2ページの小糸の豆まきのところ、公民館のサークルが一緒に加わってコラボできたのがいいなと思いました。

次に、清和の5ページのふもとの茶屋ですが、小糸はカフェ、清和は茶屋、とそれぞれの雰囲気に合っていて良いと思います。ふもとの茶屋はゆっくりした気分で行きたい雰囲気があります。

それから、来年度の事業計画ですが、私が待ちに待っていた小糸の壁画について取り上げてもらえました。詳しいことを知っている方が限られてきていて、でも世界で見ても戦争はある。今、子供たちに戦争体験者の声を伝える時期だと思っていたので、公民館のこのテーマを応援したいと思います。それから、清和の方なのですが「高齢者のウェルビーイング」の意味がわかりませんでした。スマホで調べてなんとなくわかりましたが、資料に括弧書きでウェルビーイングとは・・・と書いてあるとわかりやすいと思いました。それから、最後のところにモルックの出張型事業の話がでていましたが、公民館まで来られない人にはこういう活動はいいなと思いました。小糸ではいきいき学級の中でモルック体験があったので私も実際に体験しました。高齢者学級の中にプログラムがあっても学べるのではとも思いました。

【藤村委員長】

最後に私の方から感想を申し上げます。成人式の記念品についてですが、難しいですよ。ただ、こちらでメリット、デメリットを事務局の方からお話いただいて、最後は自分たちで決めるというのは、20歳のこの子たちにはいい経験になったのかなと思います。ですから、今年はこれでよかったかなと思っています。来年は変わってもいいだろうし、それはそれでいいのかなと感じました。

それから今年は、小糸公民館では、空調設備が相当壊れて施設が使えなくて、民間なら潰れていると話をしたのですが、お金がないのはわかっていますが、施設を提供する以上、壊れたらなるべく早く治してほしいと感じました。君津市は、以前から社会教育に力を入れていると認識していますので、そういう点ではちょっと悲しいなと思いました。

夜カフェですが、非常に良かったです。今後どの方向に流れるのか、企画

の腕も試されましょうし、参加者もこの前よりはさらにレベルアップした話し合いができるのかなと思っています。

予算の偏りを気にされていましたが、小糸の重点の一つとして子育て事業があるのだから、そこを重点化して予算化するのは、私はいいのかなと思っています。

それから、先日、駅前の活性化事業の話し合いに出て参りました。駅前の周辺があまり活性化されていないため、改善策の1つの例として、清和のおらがわの事業が紹介され嬉しくなりました。清和地区の方々の努力の結果とっております。いずれにしましても、今年度の活動を振り返り、皆さんにご苦勞様って申し上げたいとっております。

では、最後に、先ほど伊藤委員から質問が出ていました。課題について、もしあれば、お願いいたします。

【清和公民館唐鎌公民館主事】

来年度の出張型の事業に関して、高齢の方で引きこもっている方も結構いらっしゃるというので、需要はあると思いますが、職員の身は限られているので、できれば地域の中で自立的な集いにつながっていくよう、そのための参考となる出張事業ができればと考えており、課題と感じているところです。

【大野小糸公民館長】

では、小糸公民館ですが、前向きな考え方としてご理解いただきたいのですが公民館の体制や組織が来年度変わっていく中で、小糸の職員については、事業に一生懸命な職員が多くて、管理職的な言い方をすると「働き方改革の視点を公民館職員も持つ必要がある」と職員には話をしています。これは公民館の主催事業等を減らすという意味ではなくて、内容を精査して、1つ1つの内容の質を高めていくという形で、今後の運営をしていく必要があるだろうと大きく考えているところです。

もう1点は、今日、色々なご意見を伺う中で、やはり公民館も新しい形にしていく必要があると思いました。その視点というのは、例えば、各公民館で高齢者の方ばかりが集まるようになってきたと聞かれますが、小糸公民館で今年やってみた事業で、今まで手を出してこなかった中学生を対象にする、あるいは夜の平日開催にして今まで対象にならなかった男の方々が参加できるような企画をするとか、今までにない視点で公民館の主催事業等を考えていくことをする。そうでないと今のままでは、おじいちゃん、おばあ

ちゃん達しか来られないような公民館になっていくのではないかと思います。清和の方でも館から外へ出るという事業も検討されていましたが、そういった形で公民館自体も変わっていく必要があるだろうというのを、今日皆さんの意見を伺って感じたところです。

【藤村委員長】

はい。最後に私から委員長としての感想を話させていただきます。

1番は、素晴らしい委員の方、そして職員の方々に恵まれて、非常に楽しく、やりがいを持ってやらせていただくことができました。まず御礼申し上げます。具体的には、各公民館の特性を生かした地域活性化に対する取組みがいっぱいあったような気がします。これはどこの公民館にも負けないと私は自負しております。それから、地域の文化祭、1番の大きな行事である文化祭については、私もいくつかの公民館を回りましたが、両公民館とも間違いなく1番、2番で盛り上がっていました。これは皆さんのお力とっております。それから20歳のつどいについて、先ほども出ましたが、若い人たちを色々と意図的に巻き込む機会がありました。それが少しずつ芽が出ている気がしますし、今後絶対プラスになる気がします。リードしていただいた職員の方々には特に感謝を申し上げたいと思っております。

一方、課題もあります。高齢化、それから足の確保の問題、ニーズの多様化等によって利用の減少が見られていると把握をしております。また、小糸公民館は、施設の故障等により相当利用を制限されざるを得ない状況もあり、残念なことであります。その中で、清和公民館はおらがわとして生まれ変わり、また小糸公民館も建替えの計画が進んでいます。より地域のニーズにあった活動拠点の施設として、今後も努力をしていただきたいと思っております。

最後に1つ、これだけは言いたいと思って今日参りました。

先ほど、小糸公民館長から出ましたが、来年度から公民館に勤務されている非常勤の館長さんと非常勤の社会教育員が配置されないと伺っております。来年度どのような配置になるのかわかりませんが、今まで君津市は社会教育に力を入れて、公民館の数も多いし社会教育員の方々も多いし、だからいろんな活動ができています。それなのにその体制にして、社会教育に影響が出たり、職員に大きな負担がかかるような状況があってはいけないと思っております。来年度以降どうなるかわかりませんが、私は、今の小糸・清和の公民館は100点ではないけども皆さんが一生懸命力を合わせてい

ただいて頑張っていたいただいていると思いますし、私たちも頑張らなきゃいけないと思っています。この活動が来年度以降も継続できるように、市の方々とか教育委員会の方々とか、議員の方々とか、いろんな高い角度から見ていただいて、ご協力をいただきたいと思っています。最後に生意気なこと申し上げましたけども、2年間ありがとうございました。

4. その他

【事務局】

それではその他に移りますが、大野館長より公運審の皆様にお礼のご挨拶があります。

【大野館長】

公民館運営審議会委員の皆様、2年間、本当にありがとうございました。公民館職員にとっては、特に文化祭と大きな行事に公運審の方々が関わってくださることは、本当に心強い大きな存在でした。今日の会議も含めて、4回の公運審の中で委員の皆様が発言してくださる内容は、公民館職員に対する激励も込めて客観的なご意見等をたくさんいただくことができ、この会議が終わった後は、公民館職員はさらにやる気が出るというその繰り返しで、2年間やってまいりました。この会議をもって公運審の皆様の大きな活動は終わることになりますが、最後に1つ申し上げたかったのは、清和と小糸の公民館館長として「次回も公運審の委員をよろしくお願いします」と言ってきたのに、私がいなくなることが続いてきましたので、その点については申し訳なかったと思っています。今まで、ありがとうございました。

【事務局】

それでは、事務連絡になりますが、来年度の第1回公運審は委嘱状の交付がございませう。5月9日金曜日、生涯学習交流センターで予定しておりますので、継続してくださる委員の方は予定の方に入れていただければと思います。

では、以上を持ちまして第4回小糸地区公民館運営審議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。